

## 麻生区区民会議 第2回若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成24年11月12日（月）午後6時00分～午後8時45分
- 2 開催場所：麻生区役所第4会議室
- 3 出席者：[若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会委員]  
石井委員、金光委員、菅野委員、菅原委員、高橋委員、武濤委員、東川委員、  
矢野委員、山田委員（飯塚委員は欠席）  
[事務局]  
安生企画課長、白石担当係長、川里、桑原  
[関係課]  
野村こども支援室担当課長、金子地域振興課まちづくり推進係長
- 4 傍聴者：なし
- 5 議事：
  - (1) 調査審議課題等について
    - 【説明事項】

コンサルタントより、資料1をもとに第1回部会の意見概要を説明。こども支援室、地域振興課より、行政発行のパンフレットやちらしを交えて区の各事業を紹介。
    - 【主な意見】
      - ① 行政事業に対する主な質疑
        - Q1：子育てと仕事の両立などの観点で、区民から寄せられる課題にはどのようなものがあるか？
          - （区の回答）麻生区は（他と較べて）待機児童数は少ないが保育所数も少ない。「保育園になかなか入れない」という声を聞く。（こども支援室）
          - 待機児童数の統計分析や、調査によるニーズ把握など、現状把握が必要。
        - Q2：子どもを対象とした様々なイベントの開催があるようだが、開催場所や参加率における地域的偏りはないのか？
          - （区の回答）最近ではインターネットが普及していることもあり、参加者の大きな偏りは見られない。（こども支援室）
        - Q3：区の芸術・文化事業における具体的なターゲットや目的はどこにあるのか。また、区民の認知度はどの程度あるのか？
          - （区の回答）区・団体主導で始めた取組みがあり、区民の認知度が低く、連携が十分に取れていない部分もある。事業への参加者は高齢者が多い。（地域協働課）
      - ② 調査審議課題に関する主な意見
        - ◆「子育てしやすい環境づくり」テーマ全般について
          - ア 利便性・ファッション性・リーズナブル
            - ・若者が住みたくなるまちとは、楽しくショッピングできる場所がある、ファッション性が高いまちなどではないか。

- ・渋滞なしで直ぐに（買い物など）行きたいところに行けることが重要。
- ・何でもリーズナブルに手に入ることも重要。

**イ 教育の質、介護の充実、安全安心**

- ・これらも（長期的には）若者がまちに求める重要な要素となるのではないか。

**ウ まちへの愛着・居場所・つながり**

- ・区紹介の事業はイベントが中心で、一過性のものばかりの印象がある。
- ・長期的視点に立ち、子どもの愛着を育む取組み、子どもの居場所づくり、地域の皆で子どもを育てることが重要。
  - 地域での子育ての現況を把握する必要がある。（子ども会、老人会、老人が子どもを見守る仕組み、公園の使われ方など）
- ・「向こう三軒両隣」のご近所関係が薄れてきている。（＝「無縁社会」）
  - 若者は果たして「地域とのつながり」を求めているのか？
  - 「人と人の心をつなぐ地域づくり」という全体テーマにもつながる。

**◆ 若者のニーズ把握調査について**

若者のニーズを把握するための調査方法について検討し、以下の提案が出された。

**ア 考え方**

- ・既存調査（市民意識調査等）および各種統計データの整理
- ・上記を踏まえたうえで、不足している項目等について調査

**イ 内容**

以下の項目について、ハード（保育所の数や利便性）+ソフト（地域のつながり）の双方を見る必要がある。

- ・（若者にとって）魅力あるまちとは？
- ・麻生区の現状評価（住みやすいか、改善点は何か？）
- ・何故、麻生区に住んでいるのか？（転入理由）

**ウ 対象と手法（目的に応じて複数実施の可能性あり）**

対象	手法
子育て世代（新興住宅地など）	アンケート調査（調査票）
大学生やまちなかの若者	突撃街頭インタビュー
子ども	グループワーク
	インターネット投票

アンケートの対象・項目などについては、各委員で再度持ち帰り検討し、次回部会にて細部を改めて調整することとした。

**(2) その他**

今後の部会開催日時を決定した。

- ・第3回部会：平成24年12月14日（金）15時～
- ・第4回部会：平成25年1月11日（金）18時～  
（第3回部会については後日、12月18日（火）10時～に開催日を変更。）